

「シュラウド」とは  
「シュラウド」は英語で Shroud : 覆う物、幕、という意味ですが、  
原子力発電所においては

シュラウド：原子炉内の燃料を取り囲むように設置されている

円筒状の「ステンレス製」の機器

シュラウドの役割：原子炉圧力容器の中で水の流れを分離する仕切り板の役割  
(放射能を閉じこめるような役割はありません)

という位置付けで用いられています。

(図1～3参照)

「ステンレス」とは

「ステンレス」とは「Stainless Steel」の略称です。「Stainless」は「さびにくい」、「steel」は「鋼」、つまり「さびにくい鋼」という意味です。また、非常に「粘り強い」という性質も持ち合わせています。

ステンレスは「さびにくい」という性質から、ご家庭の流し台などに用いられておりますが、元来、シュラウドにも、ご家庭の流し台と同じ材質が用いられておりました。しかし、今使われているシュラウドは、ひびが発生しにくいよう改良を加え、製造時の品質管理を厳しくするとともに、十分な強度を確保するために50mmもの厚みを持たせたものです。

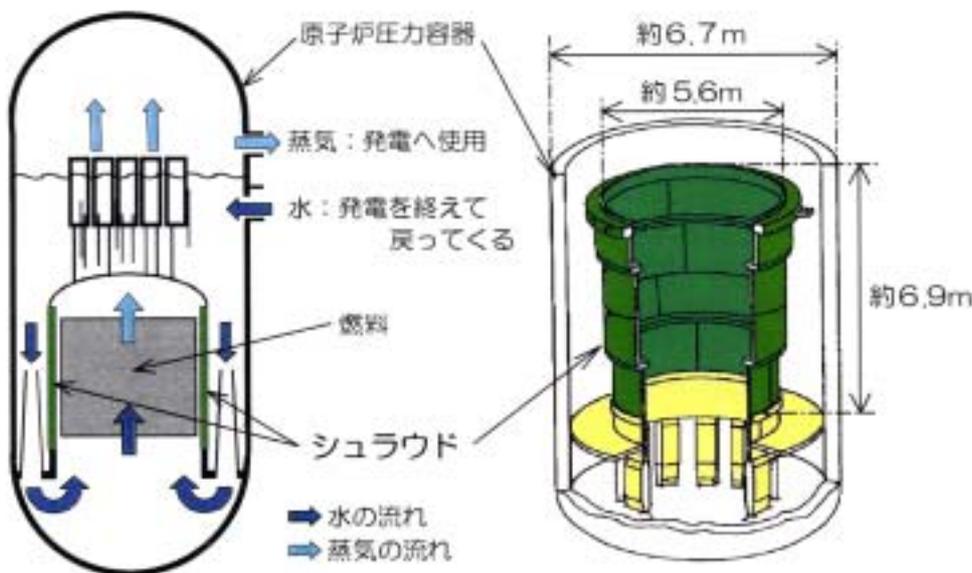


図1 シュラウドの配置図

図2 シュラウドの構造

図3 シュラウドの写真